

2022/06/28

長野県茅野市での地域活性化の実績について

森ビル株式会社
都市開発本部計画企画部メディア企画部 矢部俊男

長野県茅野市について

茅野市は、長野県のほぼ中央に位置し、八ヶ岳、白樺湖、蓼科高原、車山などの日本有数の観光資源を有する一方で、東京、名古屋から約2時間半という交通利便性を併せ持つ、人口約5万5千人の高原都市です。

■ 交通状況



車でのアクセス

東京	172km	中央自動車道	諏訪J.C	ビーナスライン	
東京	150km	関越自動車道・上信越自動車道	佐久J.C	R142 R152	
東京	204km	名神高速道路	名古屋	187km	諏訪J.C

電車でのアクセス

新潟	(特色スーパーあずさ 2:00)	中央本線	茅野						
東京	(1:20)	長野新幹線	佐久平	(1:10)	バス				
大阪	(1:00)	新幹線	名古屋	(1:50)	中央本線 (しなの)	塩尻	(0:25)	中央本線	茅野

■ 茅野市地勢

長野県の南信エリア北端に位置する茅野市は、諏訪湖を囲む岡谷市、諏訪市、下諏訪町と、八ヶ岳に抱かれた富士見町、原村の5市町村とともに、産業や地域振興での広域的な連携推進が図られています。

長野県地域区分図



諏訪広域連合(6市町村)



■ リニア中央新幹線

2027年開業予定のリニア中央新幹線(品川-名古屋間)は、南信エリアの飯田市上郷飯沼付近に途中駅が開設する予定です。工事中の関係者の流動や開設後の都市部とのアクセス動線の変化など、茅野市への影響も重要視されています。

リニア中央新幹線
路線図
(なごやしながわ)



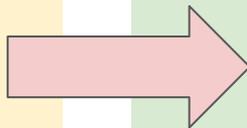
目次

- 1、二拠点居住の拠点を作りました
- 2、関係人口としての茅野市との交流
- 3、茅野駅隣接の商業施設の活性化のために作ったワークラボハヶ岳
- 4、茅野版 MaaS「のらざあ」の話
- 5、どうする？スーパーシティ？デジタル田園健康特区採択までのサポート
- 6、地方の駅前開発に一言

1、二拠点居住の拠点を作りました

・きっかけは、阪神淡路大震災でした

都市災害の恐ろしさに震撼して逃げ込める場所として1996年、蓼科に家を建てた。



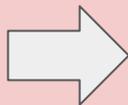
・テレワークの拠点として

インターネットが普及したことで、遠隔業務の可能性を感じた。2014年グーグルの本社の視察を機会に本格的にテレワークの研究を始めた。



2、関係人口としての茅野市との交流

移住者からの紹介



茅野市市長

中村 恭子さん

一般社団法人蓼科塾 - 料理研究家(ベジタリアン専門)、食育アドバイザー、健康管理士

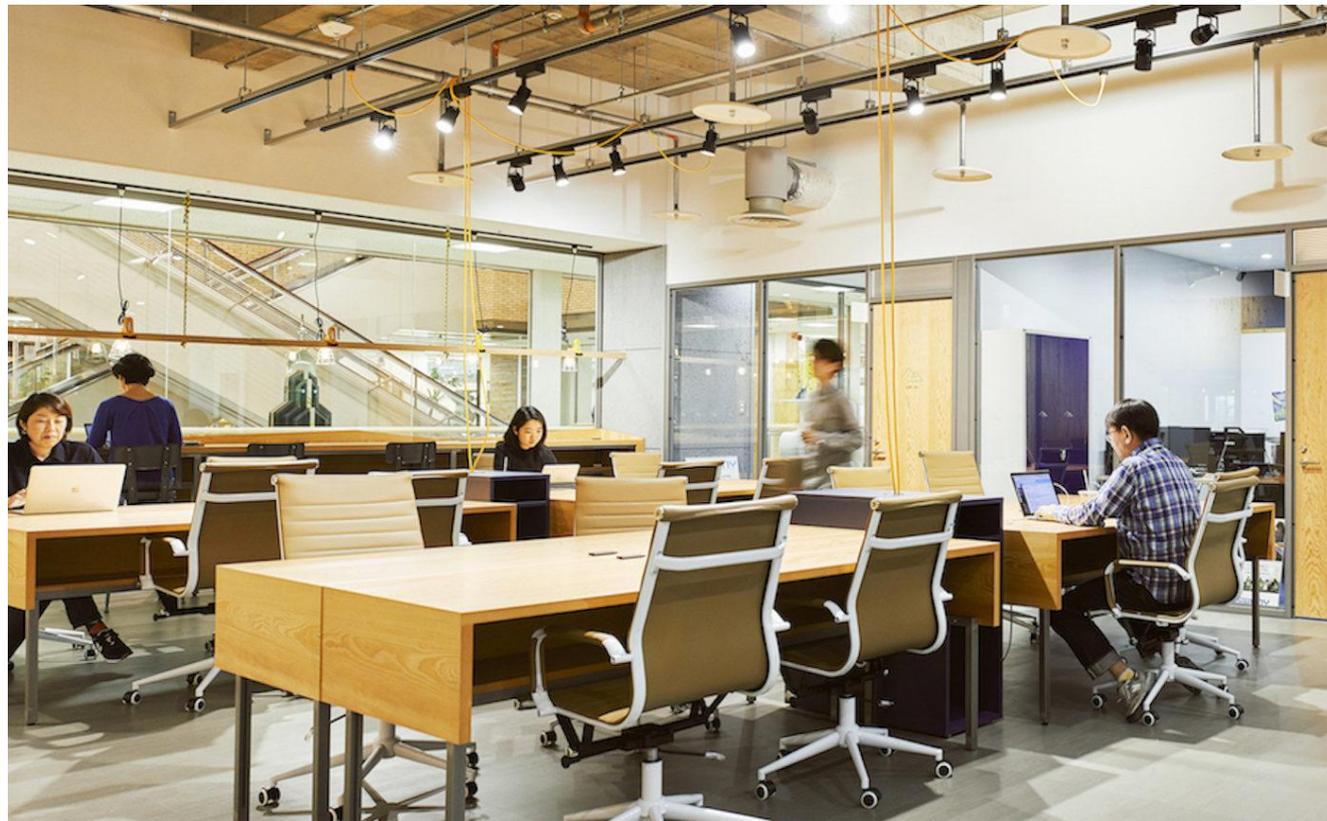


2015年 小屋フェス

都会の人に茅野を知ってもらいたい、というリクエストがあり、小屋フェスというイベントを誘致した。



3、茅野駅隣接の商業施設の活性化のために作ったワークラボハケ岳



茅野市における産業の活性化や新陳代謝を促すための魅力あるまちづくりを実現するためには、市内外の様々な場所から「人、モノ、情報」が集まり、それが相互に繋がり、新しい価値を産み出すことができる拠点（コワーキングスペース等）の整備が必要です。その施設は、自由で柔軟な発想による運営が可能な民設民営を基本とし、多くの人や企業を呼び込むための望ましい場所や必要な機能を、以下のとおり示します。

場所 地域や年代、立場を超えた様々な人や企業などが集まり、交流し、活動が展開しやすい駅前

機能 まちづくりの目指す姿の規模に応じて、以下の2つのフェーズに分かれます。

フェーズI

様々な職種、年齢の人々が集まり、仕事をしたり、ノウハウを共有して協働できる機能（①コワーキング機能）や、地域の学生（理科大学）と地域（人、コミュニティ、地元企業等）との交流やマッチングが可能な機能（②産学・地域連携機能）に加えて、地元企業の業務効率化等を支援する機能（③企業業務支援機能）を提供し、今までの茅野市にはなかった連携の新しい仕組みを構築します。

フェーズII

さらに多くの「人、モノ、情報」が集まる拠点とするため、地域資源であるものづくり技術のPRとそれを活用した体験・交流の推進（④ものづくり機能）、茅野市をPRするための観光機能の強化（⑤観光関連機能）に合わせて、茅野市を訪れた方々の利便性の向上と駅周辺の賑わい創出（⑥交通結節機能）を図り、フェーズIの機能とパッケージで駅前からまち全体の活性化を目指します。

機能の複合化・駅前整備

① コワーキング機能



② 産学・地域連携機能



③ 企業業務支援機能



④ ものづくり機能



⑤ 観光関連機能



⑥ 交通結節機能

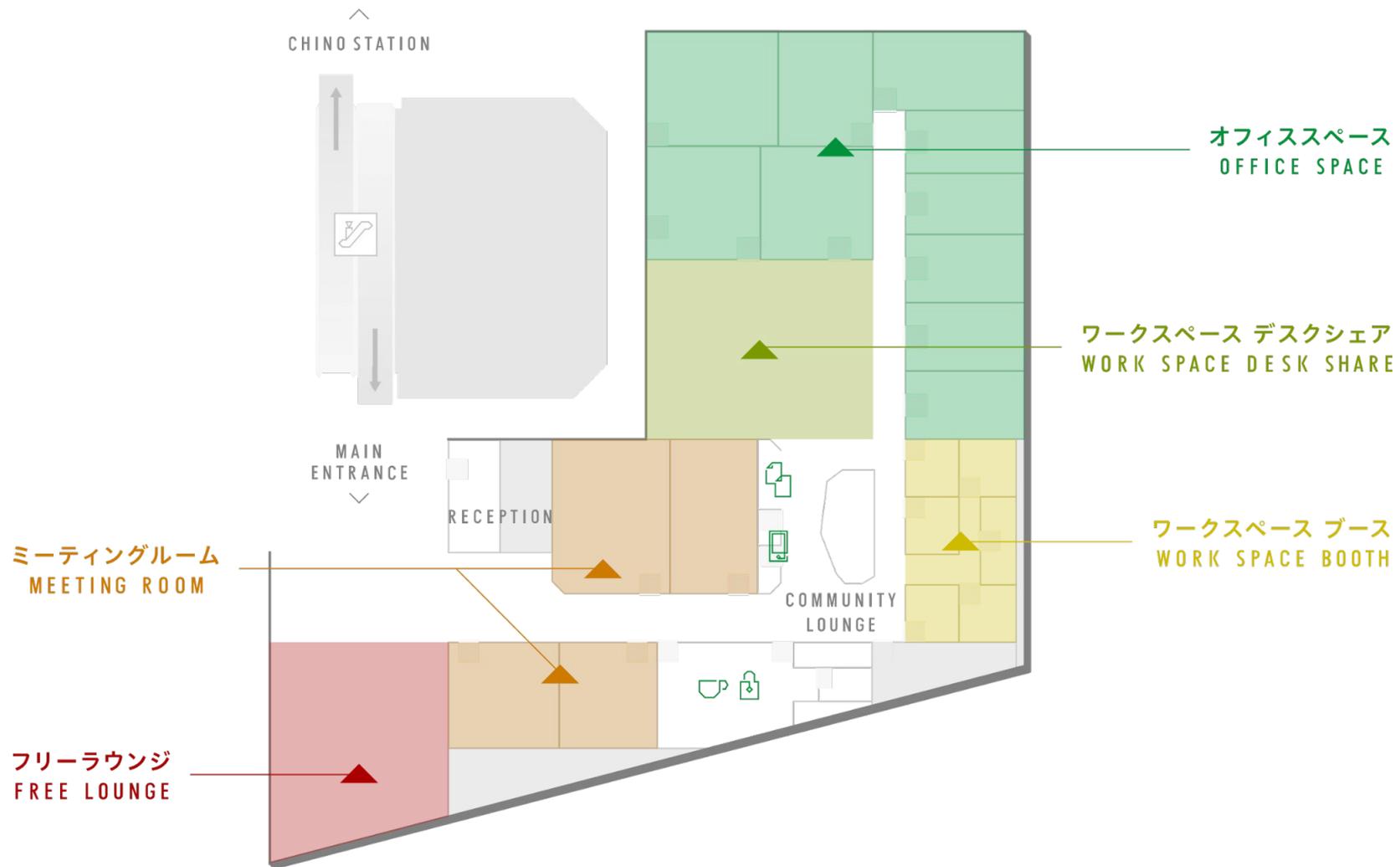


フェーズI

フェーズII（将来的な検討）

施設整備などのハード面の取組みと、活動プログラムや運営体制整備などのソフト面の取組みが連携することで始めて、施設が機能し、魅力ある場が生まれ、行政投資の効果的・効率的な実施につながります。





① コワーキング機能

起業・創業・就業の支援拠点として、様々な業種、年齢の人々が集まり、仕事をしたり、ノウハウやアイデアを共有し協働できるような場を駅前に整備することで、学生や市民のみならず、市外からの来訪者の居場所や交流の場として機能します。

施設の整備

Co-working

■ 施設

- ・各種ワークスペース (フリー・ブース・個室)
- ・ラウンジ
- ・イベントスペース etc.
- ・ミーティングルーム

■ 設備

- ・インターネット設備
- ・複合機
- ・モニター
- ・ミニキッチン設備 (冷蔵庫、電子レンジ等)
- ・ロッカー etc.



活動の実施例

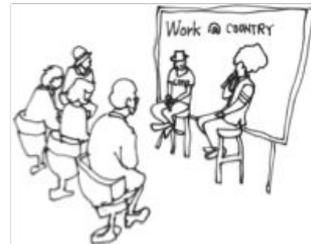
交流、マッチング機会の創出

- ・利用者同士の出会いや交流を促すイベントの実施
- ・SNSや運営者の誘導による緩やかなマッチング



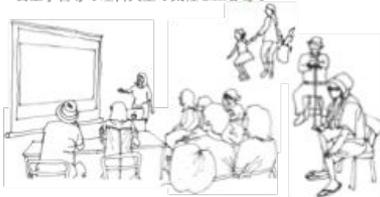
他のコワーキング施設との連携

- ・都市部、市外のコワーキング施設と連携したイベントや情報交換の実施
- ・他の施設を利用するコワーキング実践者への訴求



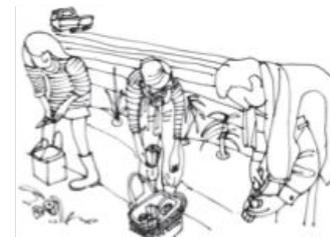
理料大のサテライトキャンパス利用

- ・授業やゼミ、研究室、成果発表の場などの大学の常時利用
- ・自主学习等の理料大生の気兼ねな立ち寄り



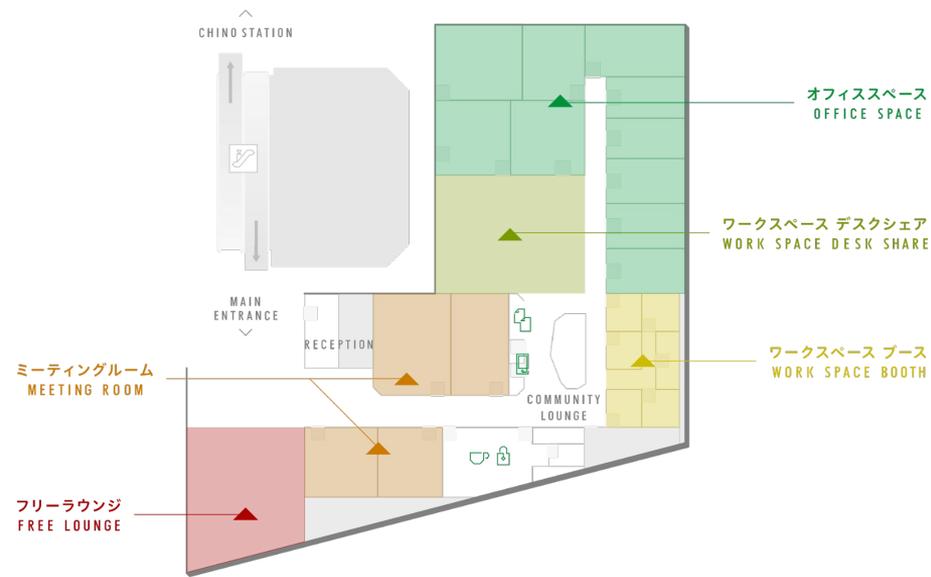
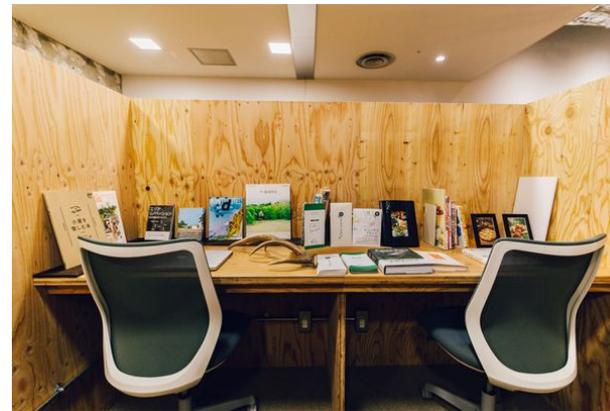
都市部ワーカー誘致のための交流プログラムの実施

- ・都市部企業と連携した茅野滞在プログラム（ボランティア、地域活動参加等）の構築



① コワーキング機能

オフィスブースはオープン時の2018年3月より現在まで稼働率は100%!



① コワーキング機能 その2



② 産学・地域連携機能

交通利便性の高い駅前に、理科大生の産学・地域連携活動や、市民活動のサテライト拠点を整備することは、活動の活性化や、理科大生と地域コミュニティとの交流促進などにつながります。

施設の整備

Community

■ 施設

- 産学連携サテライト拠点 地域活動サテライト拠点
- ・ミーティングルーム
 - ・セミナールーム
 - ・イベントスペース
 - ・キッチンスペース
etc.

■ 設備

- ・各種イベント設備
(音響設備、プロジェクター等)
- ・各種調理設備
etc.



イベントスペースイメージ



キッチンスペースイメージ



セミナールームイメージ



ミーティングルームイメージ

活動の実施例

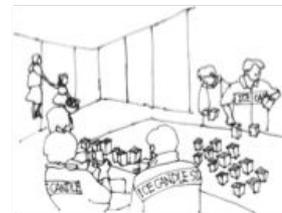
産学連携活動での利用

- ・企業担当者と学生の気軽な立ち寄りや打合せ
- ・企業や大学の情報発信や交流（新しい産学連携のきっかけづくり）
- ・産学連携センター（理科大）との連携（コーディネート促進）



地域連携活動での利用

- ・市民に“見える”場での理科大生の地域活動の実施
- ・地域連携センター（理科大）との連携



既存公共施設(駅周辺)との連携

- ・子育て中の女性、起業・創業希望者など様々な市民の活動の幅を広げる環境づくり
- ・公共施設（駅周辺）機能の整理と再構築



ベルビア



0123広場



CHUKOらんどチノチ



市役所出書所



産業振興プラザ



観光案内所



市民館



ゆいわーく茅野



② 産学・地域連携機能



③ 企業業務支援機能

施設の整備

Work support

■ 施設

- ・各種ミーティングルーム
(テレビ会議室/応接室)
- ・セミナールーム
- ・ワークスペース
(タッチダウンオフィス) etc.

■ 設備

- ・最新ICTインフラシステム
(テレビ会議システム等)
- ・インターネット設備
- ・複合機
- ・モニター
- ・各種セミナー設備
(音響設備、プロジェクター等)
- ・給湯・飲料設備
etc.



テレビ会議室 イメージ

テレビ会議室 イメージ



応接室 イメージ



ワークスペース (フリー) イメージ

ワークスペース (ブース) イメージ



活動の実施例

市内企業の駅前サテライトオフィス

- ・交通機関に影響を受けない駅前会議、応接対応の実施
- ・市内インターネット環境に影響を受けないタッチダウンオフィスの活用



企業情報発信、広報支援

- ・企業情報の発信、PRノウハウの支援
- ・市内企業共同での情報発信・PRの実施



共同WEBサイト開発 イメージ

最新ICTインフラの導入支援

- ・最新ICTインフラの体験、トレーニング、共同活用



企業連携拠点

- ・企業連携を促進する勉強会や交流会、情報交換の実施
- ・理科大や既存産業振興団体との連携
- ・都市部企業とのネットワークの構築、交流



③ 企業業務支援機能

産学公連携「スワリカブランド」創造事業について

 [印刷ページ表示](#)  [大きな文字で印刷ページ表示](#) 更新日：2019年2月28日更新

産学公連携「スワリカブランド」創造事業って何？

- ・ 茅野市が人口減少、少子高齢化に立ち向かうために策定した茅野市地域創生総合戦略に位置付けられた事業です。
- ・ 国の地方創生推進交付金を活用し、2018～2020年度の3か年計画で推進しています。
- ・ 公立諏訪東京理科大学を中心として、恵まれた自然環境をフィールドに、高度なものづくり技術と最先端のIoT通信技術（LPWA）を融合させ、様々な行政や地域の課題解決を図る取り組みです。
- ・ また、この取り組みを推進する体制と、そこで産み出された成果を一体的に情報発信することで、茅野市を知り、茅野市を訪れるきっかけにしていきたいと考えます。
- ・ 現在、安全・安心な登山の実現、鳥獣被害対策、除雪・塩カル散布の効率化などをテーマに、地域のものづくり企業の皆さんと一緒に研究開発を進めています。

茅野市
お勧め情報

>
OPEN



産学公連携「スワリカブランド」創造事業はじまります

④ ものづくり機能

市の主要産業である製造業を軸に、茅野ならではのゆとりある時間と空間の中で、誰もが自由にアイデアを形にできる施設を整備し、地域の企業や理科大との連携により運営をすることは、観光客や別荘利用者などの交流人口の増加や、地域のものづくり技能の継承、発展に寄与します。

施設の整備

Fabrication

■ 施設

- ・ものづくり支援施設
(金工、木工、縫製、陶芸、彫金等、
各種ものづくり機能一体型施設) etc.



活動の実施例

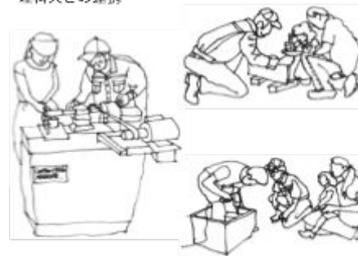
ものづくり支援、体験プログラムの実施

- ・個人や団体の創作活動を支援するトレーニングやワークショップの開催



地域ぐるみのサポート体制構築

- ・市内企業の技術者、理科大生などの地域人材の活用
- ・理科大との連携



別荘地との連携

- ・別荘利用者のアクティビティの場の創出（滞在時間延長）
- ・別荘での生活をサポートする技術支援



都市部ものづくり施設との連携

- ・滞在型ものづくり環境の提供
- ・都市部のものづくり志向者への訴求



④ ものづくり機能



swany
@SWANYINA

...

コワーキングスペース内にスワニーの営業所が完成しました。3Dラボは最新の3Dツールが安価で自由に利用可能。プロの設計者も常駐で土日も営業してます。
#ワークラボ八ヶ岳 #スワニー #デジタルモールド #茅野市



ワークラボハヶ岳 第二段階 まちライブラリー



2022年6月25日 (土) 10時

まちライブラリー
@My Book Station茅野駅
(ベルビア2F)

市民広場がオープン

・利益還元自主事業 = 「市民広場」となるまちライブラリーエリア拡張

- ・「市民広場」となるまちライブラリーエリア拡張

<ワークラボ利用者をはじめ市民、学生、別荘市民、市外訪問者を対象に>

ベルビアの空きスペースを借上げ、ワークラボ八ヶ岳と一体となる空間をなすまちライブラリー拡大し、市民にとっての憩い、交流の場となるだけでなく、ワークラボ八ヶ岳の利用者にとっても刺激と活動の表出ができる場を創りたい。

評価軸としては、ワークラボ八ヶ岳（フリースペース、まちライブラリーを含めて）への来訪者数などを定量的に調査するとともに、来訪者のコメント等を気軽に表出できるメッセージボード等を設置し、それらの情報を分析する。



既設まちライブラリー



ベルビア2階のフロアマップ



拡張エリアまちライブラリー
「本に囲まれた市民広場」

・利益還元自主事業 = 「市民広場」となるまちライブラリーエリア拡張

・利益が出た場合の自主事業 = 「市民広場」となるまちライブラリーエリア拡張

コスト面は、拡張エリア（約120㎡）を年間約120万円で賃借し、壁際を本棚にしてその内部は本の閲覧、市民の談話、イベント等に使用を予定する。

現状のフリースペースを補完（イベント等で一般市民が利用できない場合など）し、さらに市民、移住して来た市民、学生、別荘市民また広域的な利用者呼び込み「市民広場」としての価値創造をする。

まちライブラリーでは、蔵書を利用者が寄贈し集めていくことに場づくりに参画する意識をもってもらい、ワークラボ八ヶ岳の利用者とも交流しながら双方にとって創発の場にするのをねらう。

さらに本棚の設置は、ワークラボ利用者、市民による参加型で作成していく予定。



・利益還元自主事業 = 「市民広場」となるまちライブラリーエリア拡張



・利益還元自主事業 = 「市民広場」となるまちライブラリーエリア拡張



・利益還元自主事業 = 「市民広場」 となるまちライブラリーエリア拡張



4、茅野版 MaaS「のらざあ」の話

茅野市では、車社会の定着等によりバスの利用状況が低調となっていることから、市民の足である路線バスを維持するため、平成28年10月にバス路線の大幅な再編を行った。しかし、依然として利用者数は回復せず、補助金額は年々増加傾向にある。

このような現状を背景に、第2次地域創生総合戦略の策定にあたり、新しい地域公共交通のあり方が議論され、AIオンデマンドシステムを導入したハブ&スポーク型の地域公共交通体系への転換を図って行く方向性が示された。

策定された総合戦略の施策を展開するために、茅野市新地域公共交通検討会議を設置し、茅野市の目指す新しい地域公共交通のあり方が検討され、利便性の高い持続可能な公共交通システムを構築するため、地域の活性化を促進するMaaSの実現を見据えた次世代モビリティによるDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進することとし、AI・IOT等の最新技術を活用したデマンド運行を導入することが決定された。

1 地域住民の移動手段の確保

- ✓ 運転のできない学生・生徒や高齢者等の交通手段の確保
- ✓ 路線バス利用者が低調
- ✓ 高齢ドライバーによる事故等の懸念

2 まちのにぎわいの創出

- ✓ 外出機会の増加によるまちのにぎわいの創出

3 人の交流の活発化

- ✓ 観光旅客、ビジネスユース等の来訪者の移動の利便性や回遊性の向上により人の交流を活発化
- ✓ 別荘地・観光地のアクセスが脆弱

4 配車サービスが行き渡らない

- ✓ コロナ禍による配車サービスの低下（タクシー運転手不足、高齢化等）
- ✓ 電車を利用する学生の家族による送迎のための茅野駅周辺の渋滞

5 環境に配慮した地域公共交通

- ✓ 地球温暖化対策
- ✓ 電車を利用する学生を送迎のための茅野駅周辺の渋滞の緩和

解決

AIの導入 & 新しい地域公共交通

AI乗合オンデマンドの実証運行（車両）

茅野市が目指す新しい地域公共交通が、市民に理解され受け入れられるか、また、利用状況や移動動態等を把握し、本格運行につなげていくための実証運行を2020年12月7日から2021年5月31日まで実施しました。



実証運行では、運行事業者の所有する車両（4台）を使用しました。

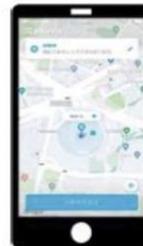
茅野市が目指す新しい地域公共交通が、市民に理解され受け入れられるか、また、利用状況や移動動態等を把握し、本格運行につなげていくための実証運行を2020年12月7日から2021年5月31日まで実施しました。



乗合タクシー

- スマートフォンアプリでの予約
- 実証運行対象エリア内でどこでも乗降が可能
- スマートフォンをお持ちでない方への対応として、タブレット端末の貸出しや代理予約等のサービスを検討しています

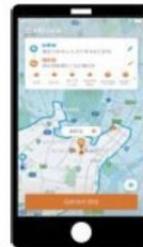
スマートフォンアプリの予約イメージ



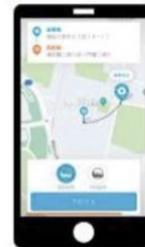
①
出発地を
設定



②
目的地を
設定



③
予約を
確定



④
乗車場所
まで移動

実証運行を実施(令和2年12月7日～)

はじまる。新しい移動のカタチ。

令和3年
新地域公共交通実証運行
5月31日まで

**乗合オンデマンド
タクシー!!**

のらざあ
NORA A

スマホで気軽に予約! 乗合で格安に。3月下旬より **エリア拡大!**

運行時間 午前9時から午後7時

アプリで予約 **電話で予約**

料率	料率
3km未満 1,300円	3km未満 400円
3km~5km未満 600円	3km~5km未満 700円
5km以上 700円	5km以上 1,000円

支払方法: クレジットカード または現金*

予約電話: ☎0570-050-413

茅野市全域が可能!
※別荘エリアを除く

アプリで予約の特典

【のらざあ】の便利な使い方!

ワンタッチ簡単予約への行き取り(のらざあも使えます!)

この乗合による代替予約OK!

お申込みの通りです!
予約は【のらざあ】を予約。

乗客(乗客) 行きは【のらざあ】で!

茅野市地域情報課 地域課生活
TEL:0266-72-2101(内線232・233)

はじまる。新しい移動のカタチ。

令和3年
新地域公共交通実証運行
5月31日まで

通学バス運行!!

学生の負担をすずめ親御さんの負担軽減や、道路渋滞軽減のための実証運行を行っています。

4月1日より **新ダイヤ** より使い易く!

茅野駅 市庁舎玄関前 ロータリー

本町 5丁目

乗沢橋

ピアみどり

料金 1乗車につき150円

定期券の場合は1乗車100円
回数券は、10回分の料金(1,500円)で12回乗車可
定額券、回数券はアプリで決済時乗車前画面にて販売
ピアみどりには待合所、駐輪場あり!

定期券 10乗車分7,500円(7,200円+乗車料300円)
回数券 10乗車分4,500円(4,200円+乗車料300円)
定額券 10乗車分4,500円(4,200円+乗車料300円)

通学バス 定期券 回数券 購入特典

休日のお出かけに便利な乗合オンデマンドタクシーの乗車料金を100円割引します。

乗車区間	茅野駅	乗沢橋
①ピアみどり	乗車 6:40 7:10 7:25	乗車 6:55 7:05
乗降 6:48 7:18 7:33	乗降 6:58 7:08	
乗車 6:49 7:19 7:34	乗車 6:59 7:09	
乗降 6:52 7:22 7:37	乗降 7:07 7:17	
②乗沢橋	乗車 17:00 17:40 18:45 18:55 19:25	乗車 17:15 17:25 18:00
乗降 17:05 17:45 18:49 19:19 19:29	乗降 17:20 18:00 18:00	
乗車 17:06 17:46 18:49 19:19 19:29	乗車 17:24 18:04 18:04	
乗降 17:12 17:52 18:57 19:27 20:07	乗降 17:27 18:12	

利用者の声!

茅野市地域情報課 地域課生活
TEL:0266-72-2101(内線232・233)

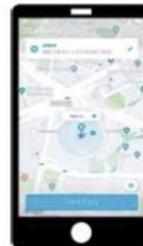
茅野市が目指す新しい地域公共交通が、市民に理解され受け入れられるか、また、利用状況や移動動態等を把握し、本格運行につなげていくための実証運行を2020年12月7日から2021年5月31日まで実施しました。



乗合タクシー

- スマートフォンアプリでの予約
- 実証運行対象エリア内でどこでも乗降が可能
- スマートフォンをお持ちでない方への対応として、タブレット端末の貸出しや代理予約等のサービスを検討しています

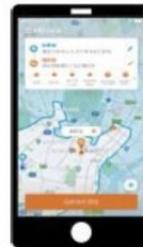
スマートフォンアプリの予約イメージ



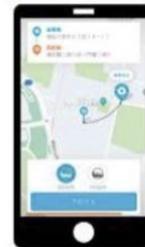
①
出発地を
設定



②
目的地を
設定



③
予約を
確定



④
乗車場所
まで移動

実証運行結果（のらざあ）

3. のらざあ利用状況分析（5月度）

【利用者数の変化】



【4月・5月の年代別利用状況】



- 5月第2週以降、利用者が急激な伸びを示した。
- 年代別では20歳代以下の利用者が大きく増加した。

デマンドによるハブ & スポーク方式



デマンドは実証運行時のエリアを確保

駅からの遠隔地に対しては、中継拠点を設置し、中継拠点から遠隔地までは定時出発方式のデマンド等を運行する。(=ハブアンドスポーク)

また、別荘地の拠点から先の手段としては自家用有償運送などを想定する。

⇒遠隔地の拠点からの移動の官民共同での連携、体制づくりが必要となる。

新しい地域公共交通について

2 新しい公共交通 ～課題を解決するために～

①朝・夕の 通学・通勤バスの運行を拡大します。

☞ 4月1日から3路線から5路線に拡大し運行しています。

②「のらざあ」(AI乗合オンデマンド交通)を運行(路線バスから移行)します。

☞ 8月22日(月)から運行します。

③ 定時定路線バス(13路線)の削減

☞ 穴山・原村線、観光路線は継続します。

☞ 9月30日で廃止します。

3 運行スケジュール

	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1
AI乗合オンデマンド交通 「のらざあ」	準備期間				運行	
路線バス (穴山・原村線、 観光路線は除く)	現行の運行					廃止

新しい地域公共交通「のらぎあ」について

4-1 運行エリア



- ◆ 生活路線バスの運行エリアをカバー
- ◆ “●”は別荘地の特定地点
(三井の森、チェルトの森の管理事務所)

4-2 運賃

距離	金額
3キロ未満	300円
3キロ以上5キロ未満	500円
5キロ以上	700円

4-3 予約、支払い方法

	予約	支払い
スマホ利用者	専用アプリ 電話予約	クレジットカード 現金
スマホ非利用者	電話予約	現金

※電話予約はコールセンターを設置
(7:30~18:30)

4-4 運行時間、運休日

- ◆ 運行時間 8:00~19:00
- ◆ 運休日 年末年始(12/30~1/3)

新しい地域公共交通「のらざあ」について

4-5 運行車両



- ◆ 運行台数 最大8台(統一したラッピング仕様)
- ◆ ハイエース(10人乗)、ノア(7人乗)、コミュニティ(14人乗)

5 今後のお知らせや説明会について

- ◆ 市ホームページや広報ちのぞでお知らせします。
(最新情報はホームページで)
- ◆ 「のらざあ」運行開始前に、具体的な使用方法も含めた説明会を開催いたします(7月下旬から予定)。

4-6 今後の検討事項

- ◆ 事前の乗車予約の受付期間について
- ◆ エリア外(別荘地・観光地)の移動手段の確保 等



※AI乗合オンデマンド交通とは
従来の定時定路線バス型ではなく、利用者の予約に対して、AIによる最適な運行ルート、配車をリアルタイムに行う乗合輸送サービス

最先端アルゴリズムによる「オンデマンド型シャトルサービス」の実証実験を開始

ヒルズを舞台に世界標準の次世代都市交通サービスを検証

森ビル株式会社は、米国・ニューヨーク市に拠点を置くVia社と連携し、8月1日よりヒルズを舞台に、最先端アルゴリズムによる「オンデマンド型シャトルサービス（HillsVia）」の実証実験を開始します。

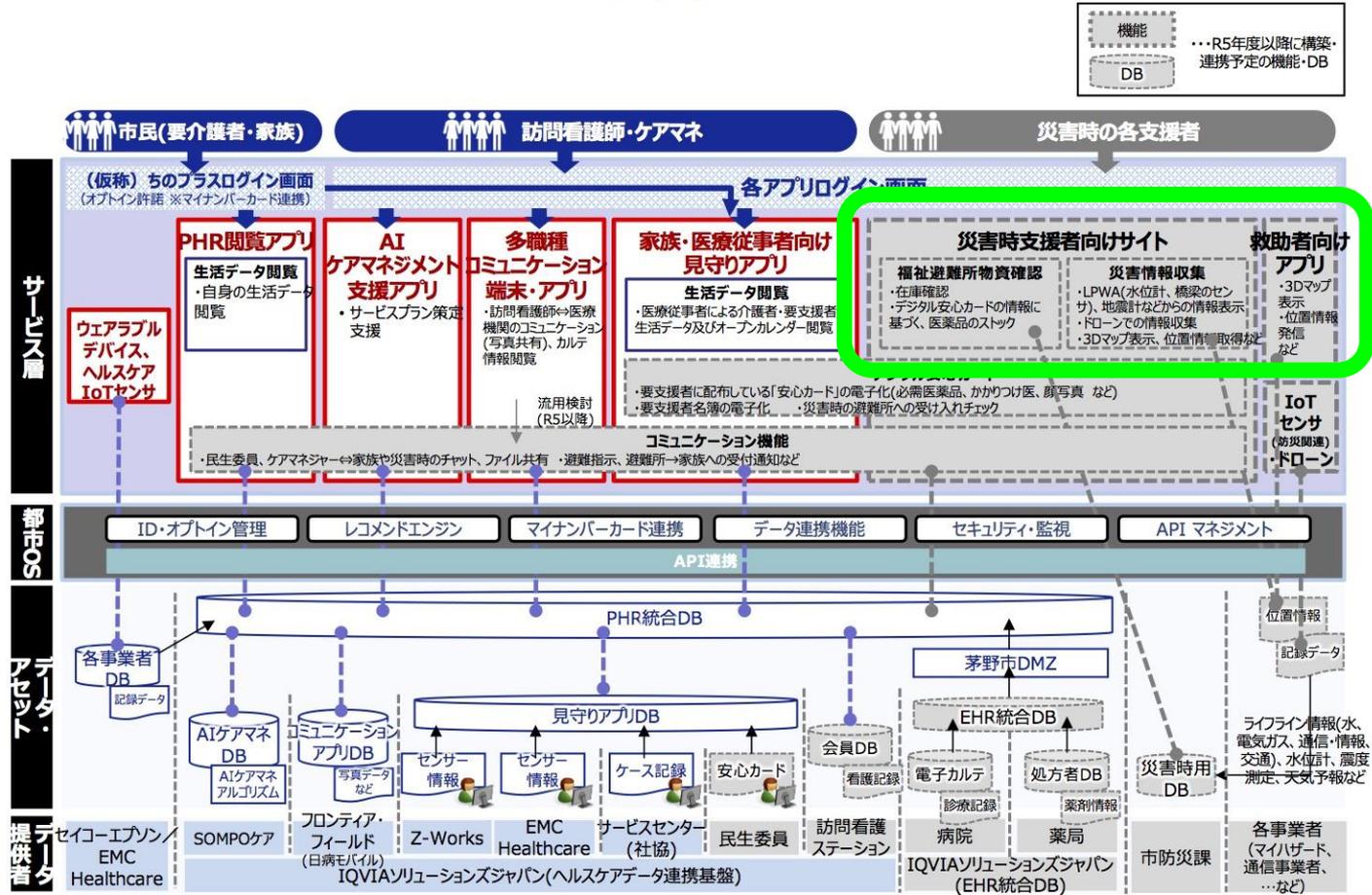
当社はこれまでも世界最先端の研究機関や大学、先進的な企業などと連携して様々な共同研究や実証実験を推進してきましたが、今回の実証実験では、Via社独自開発のアルゴリズムを採用することで、交通渋滞や環境負荷など都市交通が抱える課題の解決に寄与すると共に、都市における移動手段の選択肢を増やすことで、より豊かな都市生活の実現を目指します。



(中央) 運行車両（7人乗り）、（右）利用者予約画面

5、どうする？スーパーシティ デジタル田園健康特区採択までのサポート

■【参考】保健・医療・福祉分野システム構成図(1/2)



先端的サービスのポイント

3Dマップを活用した災害発生時の状況把握・情報共有ツール

- **CityGML建物モデルの属性情報と、IoTデバイスから取得するデータ(*)を連携**
※地震センサから取得する震度データ、移動体センサから取得する車両の位置情報等
- データ連携により、災害発生時のエリア別危険度や要援護者安否確認優先度等を自動算出し、市民へリアルタイムに情報を共有
- 3Dマップを閲覧するだけでなく、**市域全体でアクションを起こす**
情報を参考にして消防・救助活動に役立てる、情報を書き込む等

先進的ポイント



北部中学校の屋上に設置した地震センサ

6、地方の駅前開発に思う事



ありがとうございました。







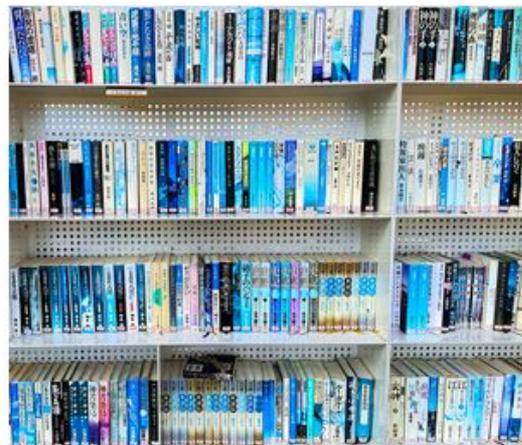
図書館の本が真っ青 開放的過ぎた？「本に申し訳ない」

依光隆明 2021年2月12日 10時30分



[list](#)

487



茅野市民館に並ぶ本。退色し、青っぽくなっている



長野県 のJR茅野駅に隣接する 茅野市民館図書室が最近、ネットで熱い話題となっている。ずらりと並ぶ本の背表紙が退色してしまい、青っぽくなっているのだ。原因は紫外線とみられ、「本の悲鳴が聞こえる」「意匠重視の設計者の自己満足」などなど、ネット上では厳しい意見があふれるが……。市民館側には公共空間としての狙いと高所にあるがゆえの悩み、ジレンマがあった。

茅野市民館は2005年10月にオープンした。キーワードは「交流」で、外からも見えるし、内からも外が見える。そうすることで異分野の人々の出会いを意識した。

図書室は最も駅に近い空間に細長く作られている。長辺は両側とも高さ5メートルを超える全面ガラス。蔵書は約1万点で、

天龍二俣 × スーパースマートライフ

Society 5.0時代のビジネスを考える

2021.
12/7(火)
18:00 ~

YouTube
ライブ配信



トークアシスタント

株式会社きささげ 代表取締役・
フリーアナウンサー

小林 あずさ氏



株式会社エムネス
代表取締役社長

阿部 伸一氏



スズキ株式会社
次世代モビリティサービス本部
本部長

熊瀧 潤也氏



山ノ舎

中谷 明史氏